

水防災として梅雨入り前に知っておくこと・備えておくこと ～ラジオ関西の番組に「若手職員再び」生出演～

— 姫路河川国道事務所 —

氾濫が発生することを前提として社会全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」を継承・再構築することを目的として、堤防決壊等に伴う大規模な浸水被害に備え、河川管理者、県、市町等が連携・協力して、減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的に推進するために、水防法第15条の9に基づく大規模氾濫減災協議会を加古川、揖保川においてそれぞれ組織しています。

今回も前回放送（6月11日）に引き続き、住民が『自らの命は自らで守る』意識の構築を図るため、ラジオ関西の「谷五郎の笑って暮らそう」に出演し、「本格的な梅雨入り前に知っておくこと・備えておくこと」について話をしました。

概要

対象河川：加古川水系加古川、揖保川水系揖保川

位置図



- 日時：令和元年6月18日（火） 12：09～12：16
- 場所：ラジオ関西 本社
- 番組：谷五郎の笑って暮らそう
- 出演：パーソナリティ 谷五郎さん、田名部真理さん
姫路河川国道事務所調査課 小野技官

○主なやりとり

谷さん：本格的な梅雨のシーズンに向け、普段からどのようなことに注意すればよいか？

小野技官：お住まいの土地の災害リスクを知ることです。事務所では加古川と揖保川について「浸水想定区域図」を作成、公表しています。

谷さん：災害リスクを知ったその次はどうすればよいか？

小野技官：洪水が起きた場合の動き方を決めるといいです。事務所では「マイ防災マップ」の作成を推奨しています。いつ、どこで、どういう経路で避難するかを地図で示した物です。自治会や町内会の活動として、みんなで話し合いながら作成することで、意識向上や地域コミュニティの強化にもつながります。

田名部さん：大雨の際に田んぼや用水路の様子を見にいて亡くなる痛ましい事故もあるし、普段からの意識・注意喚起は大切ですね。



収録の様子

参考情報

事務所HPにて、加古川・揖保川の浸水想定区域図を公表しています。マイ防災マップにつきましては、お住まいの自治体へお問い合わせいただければ、自治体を通じて作成の支援に伺います。

【浸水想定区域図】<https://www.kkr.mlit.go.jp/himeji/torikumi/river/database/shinsui/index.html>

出演した感想

今回、メディアを通じて情報を発信するというのを初めて経験し、特に1回目は大変緊張しました。声だけで情報を伝えるということの難しさがよくわかりましたが、伝えたいことは伝えられたのではないかなと思います。機会があれば、別の防災テーマでも出演できたらと思います。

【問い合わせ先】

国土交通省近畿地方整備局 姫路河川国道事務所 調査課
〒670-0947 姫路市北条1-250 TEL：079-282-8211



笑顔の谷さんと小野技官